

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組む、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づき、自社の状況を踏まえ適切な方法による賃金の引上げを行いません。また、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員の多様性を活かしつつ、働きやすい職場環境の構築や更なる生産性の向上に資する様、D&Iや教育訓練等を中心とした積極的な取り組みにより、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて、成果、能力に対する適正な評価の実施やDXの推進等により労働生産性の向上に取り組むとともに、優秀な人材の採用を行い、教育訓練等についても入社後のキャリア・適性に応じた能力開発の実施に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/127655-05-13-fukuoka.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は「経済的成長」だけでなく、環境問題を始めとする社会的課題に対する取り組みを積極的に進め、人や自然との調和を追求し、「サステナブルな社会実現」を重要課題と捉え、人と地球の未来を支え続ける「良きコスモポリタン企業」であり続けると共に、全てのステークホルダーに貢献すべく、総力を挙げて「鉄と産業を支える世界第一級の総合セラミックス企業」を目指して挑戦を続けてまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和7年3月6日

(令和8年3月30日 パートナーシップ構築宣言 URL 変更による更新)

黒崎播磨株式会社 代表取締役社長 江川 和宏